

# 大学院生命環境学専攻(修士課程) 地域環境マネジメントコース 説明会資料



## 地域食物科学科

(ワイン科学特別コース含む)

安全でからだにやさしい食物・食品やワインをつくる



## 環境科学科

自然環境と共生した

持続可能な社会を創る



## 地域社会システム学科

マネジメント・プロフェッショナルになる  
少数精鋭方式で経済 経営 法律を徹底的に学べる文系学科



## 内容

- 新大学院のコース概要
- 入試の概要
- カリキュラム概要
- 各科目群の内容について
- 卒業後の進路について
- 質疑応答

学術の理論及びその応用を教授研究することを目的とし、学術研究を創造的に推進する優れた研究者並びに高度で専門的な知識と能力を有する職業人を育成することを目的とする。

## 博士課程

医学工学総合教育部(博士課程)

## 修士課程

教育学研究科

医工農学総合教育部

生命医科学専攻

看護学専攻

工学専攻

生命環境学専攻(修士課程)

# 新大学院の設置目的

「食と健康」及び「生命と環境」は、人類にとって最も普遍的で重要な課題

農学を基盤とし、医学・工学とも連携して「生命・食・環境・経営」分野の教育研究を行う修士課程「生命環境学専攻」を設置

地域を活性化させ、わが国並びに世界の持続的発展に資する人材の育成を目指す



# 生命環境学専攻(修士課程)



## 山梨大学大学院 医工農学総合教育部(修士課程)

生命医科学専攻

看護学専攻

工学専攻

生命環境学専攻

農学系の大学院修士課程。「生命・食・環境・経営」に関する高度な知識と技術を修得させる教育を行い、高度専門職業人を養成することを目的とします。

# 生命環境学専攻の3つのコース



## バイオサイエンスコース

## 修士(農学)

生命科学を基盤として、「食や健康」、「生命と環境」に関わる諸問題を解決する人材を育成するために、広範なバイオサイエンスの領域にわたる高度専門教育を行います。

## 食物・ワイン科学コース

## 修士(農学)

人類にとって必須な「食物生産」という課題を総合的に解決する人材を育成するために、ワイン科学教育の実績を生かした高度専門教育を行います。

## 地域環境マネジメントコース

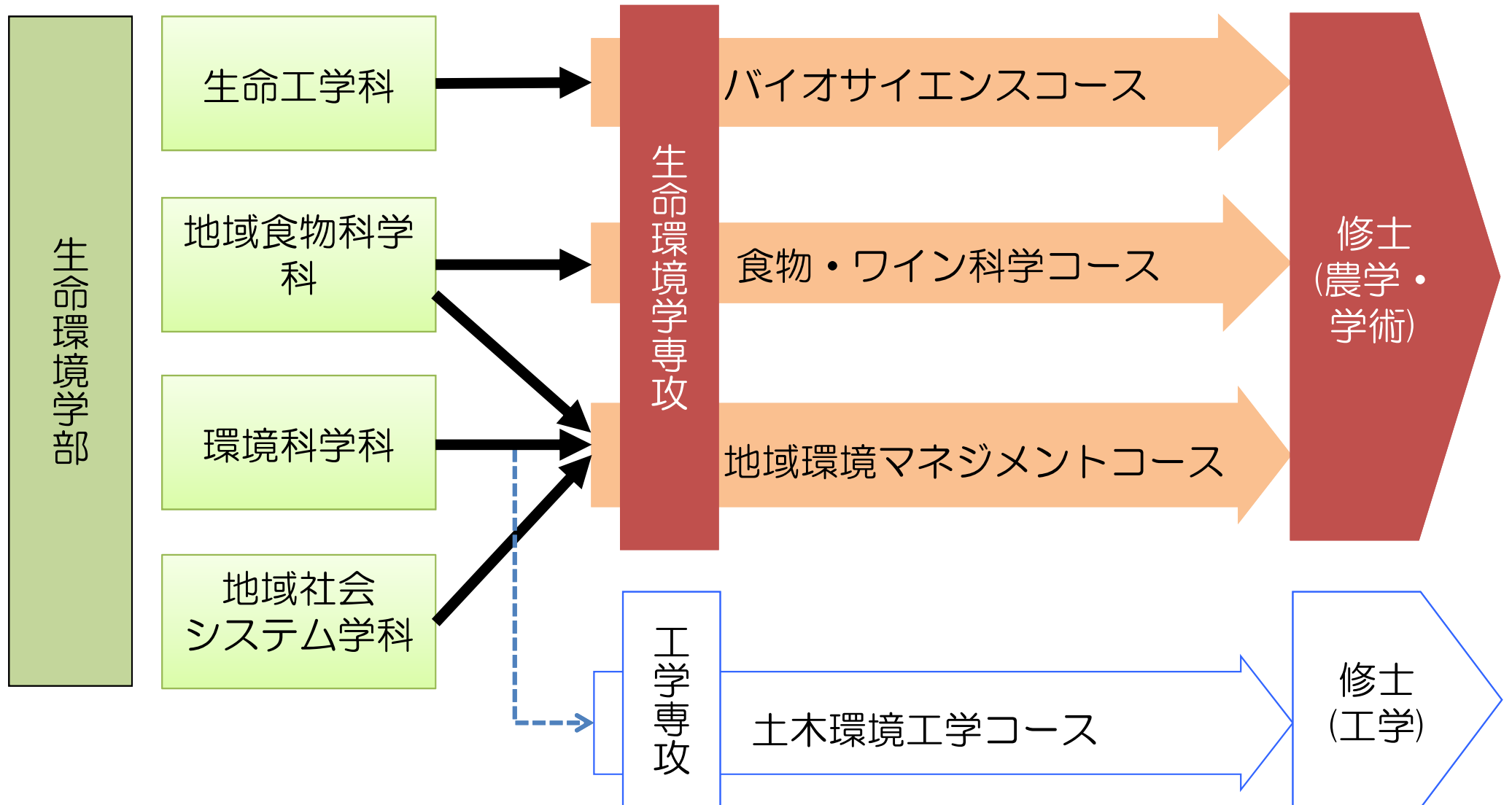
## 修士(学術)

持続的な食料の生産と供給に関わる地域環境の保全・管理と、それを支える地域社会の基盤形成やマネジメントに関する専門知識と技能の修得を目指した自然科学と社会科学の文理融合的アプローチによる高度専門教育を行います。

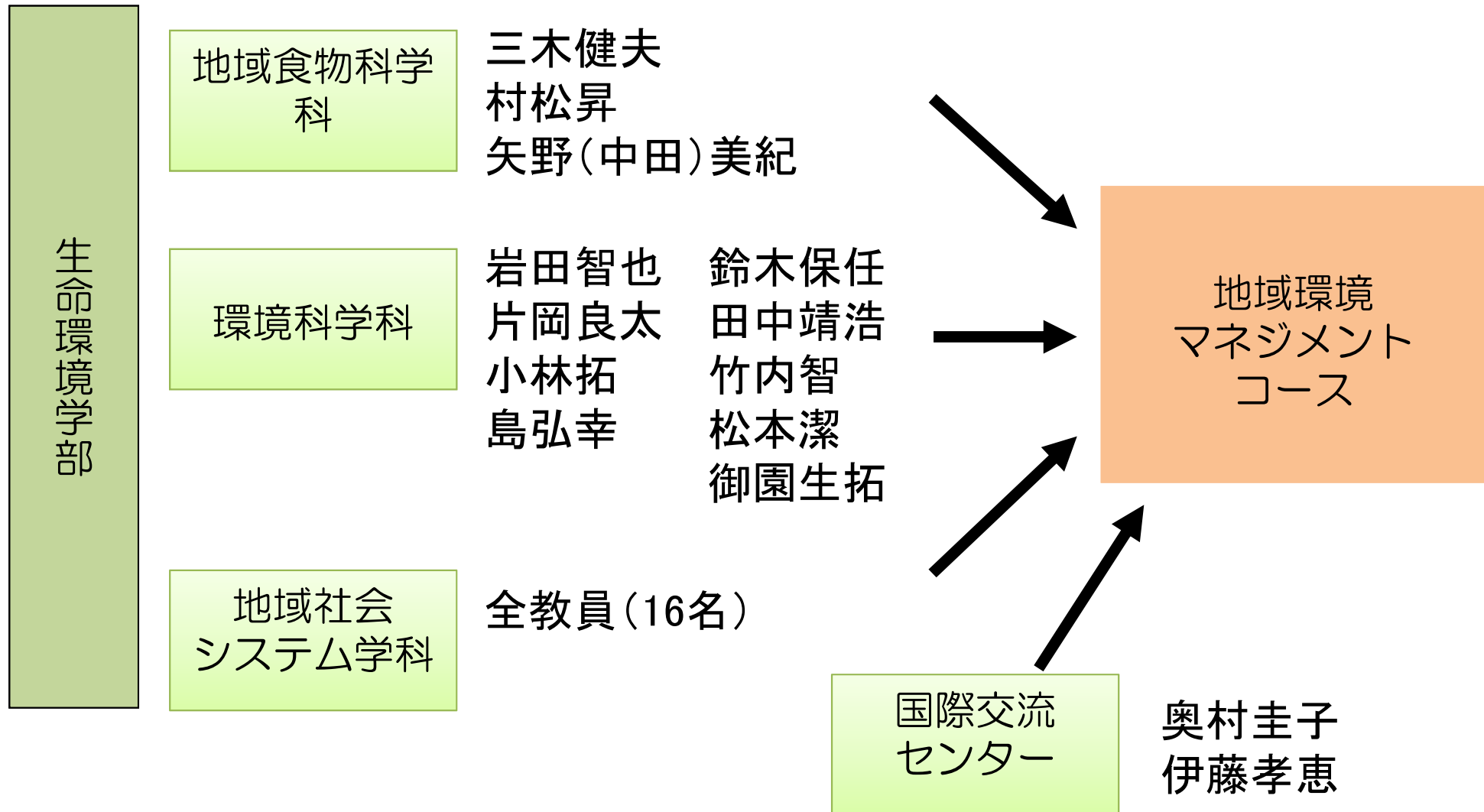
# 学生の主な流れ

学部

大学院（修士課程）



# 地域環境マネジメントコース担当教員



# 地域環境マネジメントコースの人材育成

## 地域食物科学科

(ワイン科学特別コース含む)

安全でからだにやさしい食物・食品やワインをつくる



生物生産管理

## 環境科学科

自然環境と共生した

持続可能な社会を創る



環境影響評価

## 地域社会システム学科

マネジメント・プロフェッショナルになる  
少数精鋭方式で経済 経営 法律を徹底的に学べる文系学科



地域の課題解決・  
持続的発展

自然科学と社会科学の文理融合  
幅広い視野と柔軟な思考に根  
ざした生態系管理や政策・企  
画を立案する能力を有した人  
材が求められている。

学部教育で培った専門性を深化させるとともに、文理融合アプローチにより、「食と健康」及び「生命と環境」に関わる複雑で多様な課題を解決し、地域の持続的発展に貢献できる高度専門職業人を養成する。



## 4つの教育目標

- 1) 人間活動が自然環境や地域に与える影響を**自然科学的手法により評価**するための高度な専門知識と技能及び問題解決のための応用力の修得
- 2) **社会科学の視点**から企業活動や公共政策などを捉え、自然と人間との共生や地域の持続的発展を実現していくための、適切かつ具体的な「解」を提言する能力の修得

## 4つの教育目標

- 3) 自然科学及び社会科学の素養と高度な応用能力を身につけ、文理融合ならびに産官学民連携を通じた分野横断的手法による課題解決や政策・企画の立案に貢献する能力の修得
- 4) 高度専門職業人あるいは研究者としての高い倫理意識の涵養とグローバルコミュニケーション能力の修得

# 修了要件

コース	必修／選択	授業区分	必要単位数
地域環境 マネジメ ントコー ス	必修	講義	6単位
		演習	4単位
		研究	8単位
	選択	講義	12単位以上
		演習	
		インターンシップ	
		実験・実習	
	合計		30単位以上

さらに、修士論文の審査と最終試験を経て、合格者に**修士(学術)**の学位を授与します。

# 教育課程の概要

講義、実験・実習、演習、フィールドワークを取り入れた実践カリキュラム

## 大学院共通科目（必2単位）

目的：高度専門職業人として必要な  
社会人基礎力を養成

科学者倫理  
キャリアマネジメント  
サイエンスコミュニケーション

## 専攻共通科目（必10単位）

目的：専攻分野に関する基礎知識の  
修得と研究に必要な基礎力養成

生命環境学特論  
応用生命環境学特論  
生命環境学演習A、B  
生命環境学研究A、B  
インターンシップ、II

## コース専門科目

（必6単位）  
（選12単位）

特色：地域環境マネジメントに関  
わる高度な専門知識と技術の修得

### 環境共生圏科目群

気水圏環境動態解析特論  
生物圏環境動態解析特論  
環境計測評価特論  
生物生産環境特論  
資源循環型食料生産特論  
生物環境適応学特論  
環境物理学特論  
数値コンピューティング特論  
環境数理システム特論  
環境共生圏科学実習

### 地域社会科目群

環境資源経済学特論  
農業経済学特論  
経営学演習  
技術開発史特論  
地域計画学特論  
エネルギーマネジメント特論  
環境政治学特論  
地域公共政策演習  
法政システム特論  
企業活動と法特論  
環境法特論  
多分化共生特論  
経済分析実習

### 専門発展科目

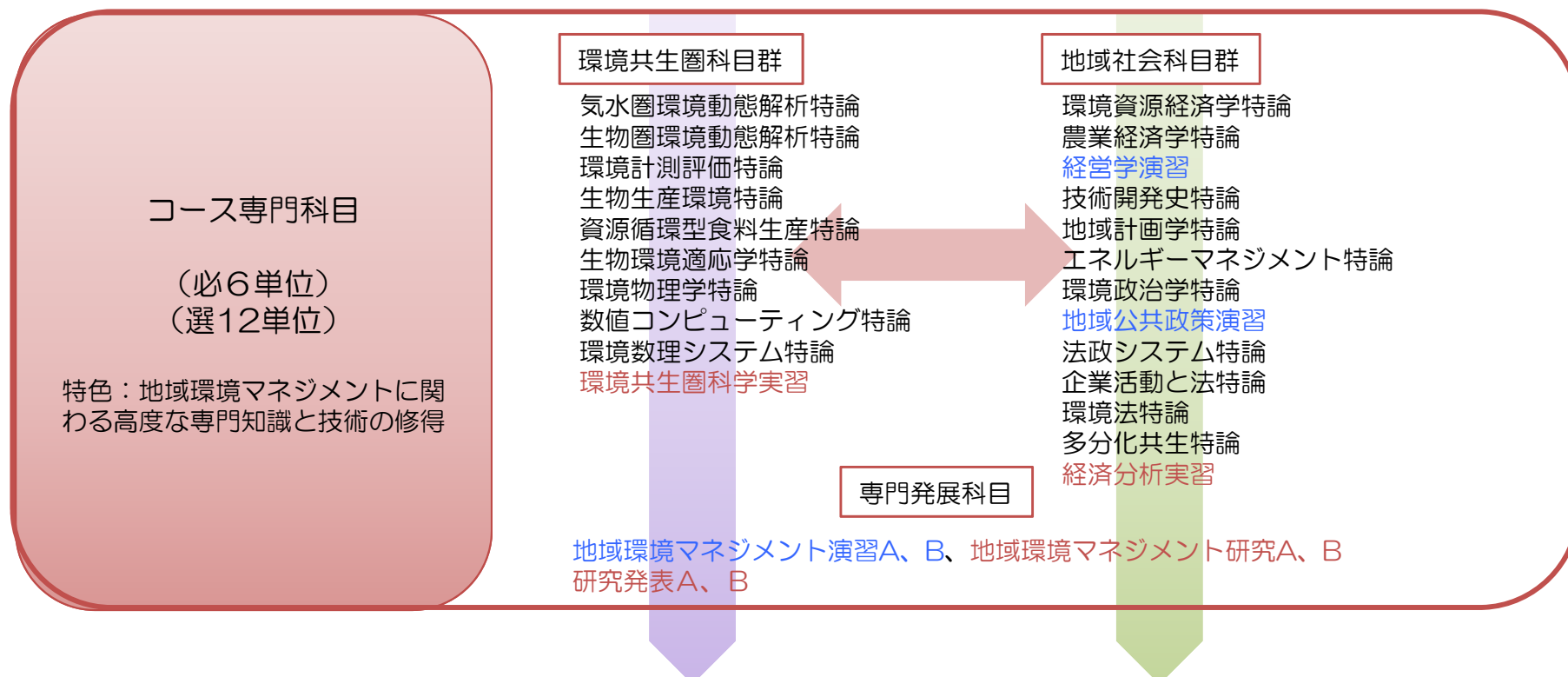
地域環境マネジメント演習A、B、地域環境マネジメント研究A、B  
研究発表A、B

## 他コースの関連科目

目的：専門領域の拡大と応用力の  
養成

環境微生物資源学特論、生命情報学特論、農作物栽培生理学特論、  
流域管理特論、陸水水質評価特論、環境浄化技術特論

# コース専門科目の特徴



主履修科目群から8単位、副履修科目群から4単位以上を修得

**環境共生圏科目群**

環境科学や数理科学の手法を用いた環境影響評価技術を修得

**地域社会科目群**

地域の課題解決や持続的発展に不可欠な社会科学的知識を修得

2つの科目群を履修することで、専門分野における高度な知識や技能を修得するとともに、幅広い視野と柔軟な思考能力を培う

# コース専門科目の特徴

## コース専門科目

(必6単位)  
(選12単位)

特色：地域環境マネジメントに関  
わる高度な専門知識と技術の修得

### 環境共生圏科目群

気水圏環境動態解析特論  
生物圏環境動態解析特論  
環境計測評価特論  
生物生産環境特論  
資源循環型食料生産特論  
生物環境適応学特論  
環境物理学特論  
数値コンピューティング特論  
環境数理システム特論  
環境共生圏科学実習

### 地域社会科目群

環境資源経済学特論  
農業経済学特論  
経営学演習  
技術開発史特論  
地域計画学特論  
エネルギーマネジメント特論  
環境政治学特論  
地域公共政策演習  
法政システム特論  
企業活動と法特論  
環境法特論  
多分化共生特論  
経済分析実習

### 専門発展科目

地域環境マネジメント演習A、B、地域環境マネジメント研究A、B  
研究発表A、B

# 履修モデル

## 専門科目の組合せによる多様な履修モデルとキャリアパス

### 環境評価モデル: 環境計測、アセスメントの研究者・技術者をを目指すモデル

#### 環境評価や保全に関わる知識と技能を修得する

- ・最先端の環境評価手法に関する知識と技能を得たい
- ・野外観測や分析に興味がある
- ・環境コンサルタント分野で活躍したい

#### 得られる知識・スキル

- ・自然科学的手法による環境計測手法
- ・生態系の保全計画策定や管理の知識
- ・人間活動と自然の相互作用に関する総合分析力

#### 活躍できるフィールド

- ・環境コンサルタント業、各種企業環境影響評価部門、
- その他の進路**
- ・大学院進学等

### 生物生産管理モデル: 持続可能な生物生産環境管理の研究者・技術者をを目指すモデル

#### 生物生産管理に関わる知識と技能を修得する

- ・生物生産環境管理に関する知識を修得したい
- ・持続可能な食糧生産技術に興味がある
- ・食品、農業分野で活躍したい

#### 得られる知識・スキル

- ・生物生産環境の管理計画と技術
- ・生物の持続的な利用と生産に関わる知識
- ・科学的知見に裏打ちされた資源管理に関する深い洞察力

#### 活躍できるフィールド

- ・食品系企業、農業関係法人、
- その他の進路**
- ・大学院進学等

### 環境数理モデル: 環境関連の情報システム管理、マネジメント分野の研究者・技術者をを目指すモデル

#### 数理学に基づき環境予測技術を修得する

- ・数理学の最先端を勉強したい
- ・シミュレーションやプログラミングを学びたい
- ・数理手法を活用したエネルギーや環境管理の技術者になりたい

#### 得られる知識・スキル

- ・数理学に基づき環境予測技術
- ・環境マネジメントプランの策定能力
- ・人と自然の共生に不可欠な課題解決力

#### 活躍できるフィールド

- ・環境コンサルタント業、情報産業、食料生産管理、各種企業環境マネジメント部門
- その他の進路**
- ・大学院進学等



# 履修モデル

## 専門科目の組合せによる多様な履修モデルとキャリアパス

### 環境政策モデル: 自治体やNPOにおける政策立案者や環境管理計画策定の専門家を目指すモデル

#### 環境政策や地域計画に関わる知識を修得する

- ・環境政策や地域計画の専門知識を得たい
- ・自治体やNPOに興味がある
- ・地域の持続的発展に貢献したい

#### 得られる知識・スキル

- ・政治・経済・法律に関する知識と応用
- ・環境政策・企画の立案能力
- ・地域の持続的発展に貢献する応用力

#### 活躍できるフィールド

- ・地方自治体・公務員、NPO、公務員
- その他の進路**
- ・大学院進学等

### 環境経営モデル: 持続可能な企業活動を支えるビジネスマネージャーを目指すモデル

#### 企業の経営活動や法令に関わる知識を修得する

- ・企業や団体の経営や法令について勉強したい
- ・企業の環境対応に興味がある
- ・企業の環境マネジメント部門で活躍したい

#### 得られる知識・スキル

- ・企業経営や法令に関する知識と応用
- ・企業マネジメントに関する知識
- ・持続的な企業経営に貢献する応用力

#### 活躍できるフィールド

- ・各種企業 環境マネジメント部門
- その他の進路**
- ・大学院進学等

### 食料生産基盤整備モデル: 持続的な食料生産・利用の社会的条件整備に関する企画立案者を目指すモデル

#### 食物生産管理に関わる知識と技能を修得する

- ・食料生産の社会的条件に関わる知識を修得したい
- ・持続可能な食料生産基盤の整備に貢献したい
- ・食品、農業分野で活躍したい

#### 得られる知識・スキル

- ・食料生産の社会的条件の管理と技術
- ・食料の持続的な利用に関わる知識と応用
- ・持続的な食料生産の社会的条件に関する深い洞察力

#### 活躍できるフィールド

- ・食品系企業、農業関係法人
- その他の進路**
- ・大学院進学等



# 指導グループ制

## 1) 初年時指導教員グループ

主指導教員 1名(所属コース教員)

副指導教員 2名以上(うち1名は他コース教員)

副指導教員は学生の専門性を広げるよう指導し、  
コース横断的な学際教育を実施

## 2) 修士論文指導教員グループ

主指導教員 1名(所属コース教員)

副指導教員 2名以上(うち1名は所属コース教員)

副指導教員は学生の専門性を深めるよう指導し、  
よりきめ細やかな専門教育を実施